

■ イエスを迫害し始めたユダヤ人たち

ユダヤ人たちは、ベテスダの長い病人が癒されたという事実には関心がありませんでした。彼らは、安息日にイエス様が病人を癒したことに怒っています。また、癒された人に、その人の横になっていたマットを持ち歩かせたことに怒っているのです。

このようなユダヤ人たちの怒りは、イエス様ご自分と神との関係を主張するきっかけになりました。イエス様は彼らにこう答えました。

「わたしの父は今に至るまで働いておられます。それでわたしも働いているのです。」

そのため、ユダヤ人たちはますますイエス様を殺そうとするようになりました。今日の個所は、これに続くイエス様の答えです。

■ メッセージのポイント

イエス様は、神の子として、ご自分にある特権と委ねられた父の権威について語りました。

(1) 父なる神はご自分がすることをすべて、イエス様に示しました。

(2) 父は、子のうちにいのちを持たせてくださいました。父が死人をよみがえらせ、いのちを与えるように、子もまた、与えたいと思う者にいのちを与えます。

(3) 父は、さばきを行う権威を子に与えました。父はだれをもさばかず、すべてのさばきを子に委ねました。